

平成23年2月25日

あきる野市議会議長 様

あきる野市議会議員 山根トミ江

一般質問通告書

次の事項について、会議規則第63条第2項により質問の通告をします。

質問事項	質問要旨（箇条書）
(1) 国民健康保険の 広域化について	<p>厚生労働省は、市町村が運営する国民健康保険について、今後、都道府県単位に「広域化」する方針を打ち出した。広域化によって国民健康保険制度がどう変わるのかなど市民から不安の声が寄せられている。具体的な内容がどのようになるのか以下の点について質問する。</p> <p>現在、国の広域化に対する動向はどのようになっているか。</p> <p>広域化によって現状の制度と変わる主なものはどのようなところか。</p> <p>保険税の設定はどこで決めるのか。</p> <p>今までどおり市町村の一般財源の繰り入れを行うことができるのか、繰り入れをなくした場合保険税はどうなるのか。</p> <p>国保法第44条で規定されている減免制度などは市町村で決めることができるのか。</p>
(2) 学童の通学路の安全対策について	<p>学童の通学路の安全対策については、これまでも永田橋周辺の歩道の拡幅をはじめ、交通擁護員の増員など再三求めてきたところである。</p> <p>今回は以下の場所についての安全対策について質問する。</p> <p>二宮清水外科方面から、東秋留駅西側の</p>

五日市線踏み切りに通じる道路は東秋留小学校に通学する学童の通学路となっている。現在、この踏み切り付近の道路は非常に狭い上に途中の一部がさらに狭くなっているため、車が通行する際に児童がよけるスペースがなく、非常に危険な状況になっている。以前より地域住民から狭くなっているところを拡幅してほしいとの要望が寄せられているため、市にも再三要請しているところである。現在市の関係部局で調査を進めていると思うが、その後の進捗状況と今後の計画について伺う。

草花小学校の児童の通学路の安全対策について。

ア 南小宮橋周辺は、車の通りが激しいが、学童がたくさん通行しており非常に危険な状況になっている。安全対策として 歩道にガードレールを設置できないか。

イ ふれあいセンターから西側の秋3・4・5号線に通じる交差点付近は、ダンプなどの大型車も多く走っており、交通事故も多いと聞いている。安全のための交通標識の設置を求める。